

演芸部

高齢者 レクリエーション大会 と東部公民館まつり について

演芸部長 住山茂保



老人クラブの女性部・演芸部が担当する年一回の高齢者レクリエーション大会は十一月四日(金)に開催されました。昨年は役員の弁当が一つ足りなくなったりする問題がありましたが、今年は食事券を渡したので、そういう困ったことは起きました。

今年は、私は青木玉枝さんと「木曽路わかれ雨」をデュエットで歌うことになっていたので、前の晩、十二時ごろまで歌詞を暗記し、またあくる朝、六時半ごろから一時間くらいちゃんと覚えるよう練習しました。あがってしまって歌詞を忘れないように、大きな歌詞カードをお守りとして左手に持って舞台に立ちました。相手の青木さんは歌詞を間違えずに堂々と歌ってくれました。私も青木さんにつられて、落ちついて無事歌い終えることができ、ほっとしました。

レクリエーション大会の方も無事終わり、後片づけのあと、寿楽荘の榎本さんと、石田老人クラブ連合会会長代行のお礼の言葉をいただいて、女性部・演芸部の役員は解散しました。朝九時から四時半まで長い一日でした。

私は、東部公民館のさわらび合唱団とカラオケ教室に昨年十一月から参加しています。

そのため今年の十一月十三日の「公民館まつり」に参加し、十一時半からコーラス(見上げてごらん夜の星を・女ひとり・いい湯だな)、一時半からカラオケ(無法松の一生)に出演しました。

ホールいっぱいのお客さんが、笑顔や拍手、声援で励ましてくれてとても楽しく歌うことができました。

ホールの南の広場では、みたらしだんご、焼そば、うどんなど販売しており大変賑わっていました。

公民館婦人部の役員の方や体育委員さんたちの奉仕のお陰で、このまつりが和やかに開催されていると感じました。



高齢者レクリエーション大会(11月4日)市民会館大ホール



女性部60人による「左官職人こね太郎」(11月4日)



市老連新春カラオケ大会(1月7日)出演者大熱演



市老連新春カラオケ大会(お楽しみ抽選会風景)